



高崎ツアーご参加の皆様

平成30(2018)年5月18日

一紅会歴史研究同好会 第24回渡辺房男先生と行く  
**高崎史跡ロマン散策バスツアー 詳細ご案内**

記

催行日 平成30(2018)年5月27日(日) ☔雨天も催行します

集合 7時20分 新宿西口中央通り明治安田生命ビル横  
京王バス28 ポール 京王自動車大型観光バス  
「一紅会旗」を持って案内します

**出発 7時40分(時間厳守)**

会費 9,000円(諸費用を含みます 当日徴収させていただきます)

参加人数 48名

行程 新宿西口 7:40 → 高坂サービスエリア(1人合流) → 10:00 高崎神社ホワイトイン駐車場  
(1人合流) 徒歩で3分長松寺(山門で記念集合写真撮影、住職の案内で忠長公自刀の部屋、本堂などを見学 1時間) 裏口から徒歩でホワイトイン駐車場 11:15 → 11:30 大信寺(降車する大通りに面した裏口木戸から境内に入り忠長公墓地参拝見学、本堂で住職説明により忠長公位牌見学 本堂前で記念集合写真撮影 1時間15分) 12:45 → 13:00 高崎市役所駐車場 徒歩で5分高崎城趾公園乾櫓、東門見学 → 13:30 アートマルシェ 昼食(高崎市役所21階展望レストラン)  
ランチコース(スープ、サラダ、高崎ポークソテー、ライス、デザート、珈琲又は紅茶。珈琲組と紅茶組で分かれて着席する) 14:30 → 15:00 かみつけの里公園 博物館に有料(64才以下)と無料別に入館する(2班に分かれて、学芸員の案内により博物館と八幡塚古墳見学。博物館前で記念集合写真撮影 1時間30分 1人解散) 16:30 → 高坂サービスエリア(1人解散) →  
18:30新宿西口帰着(お疲れ様でした!!解散)



- \* 当日の諸事情により時間など変更する事もありますのでご了承下さい
- \* 歩き易い服装、履物着装。帽子をご持参下さい
- \* バスの座席は基本的に年長順に前席からお座り頂きますが、ご体調などご都合が有りましたらお知らせ下さい。当日乗車口に表示しますのでご確認ください
- \* 今回のツアーは、諸所駐車場の都合で、いつもより20分早く**7時40分**に出発します  
早朝大変ですが遅れないようにお集まり下さい
- \* 見学場所3カ所で記念集合写真を撮りますのでご協力下さい
- \* おやつを少し用意しますが、駐車場の都合で昼食時間が遅くなりますのでご了承ください
- \* ご不明な点がございましたら何なりと井上 (tel & fax : 042-591-6597)までお問い合わせ下さい

☎緊急連絡 SOON 井上若子 090-9236-9832 谷口百合子 080-3171-5950  
鈴木紀子 090-2412-3111 峯川文江 090-9956-6518

**好天に恵まれますように!!**

以上

一紅会会長 谷口百合子  
歴史研究同好会担当 井上若子(文責)



写真は、高崎城乾櫓 と かみつけの里八幡塚古墳

一紅会歴史研究同好会 高崎・歴史散歩

## 悲劇の甲府宰相徳川忠長ゆかりの地とはにわの里公園

第三代将軍徳川家光の弟、徳川忠長は兄の命により高崎で自害、寛永10年（1633）のことである。徳川政権確立期のひとつの悲劇として伝わっている。不行跡を理由に甲府城から高崎城に送り、二代将軍秀忠と生母お江の死を待っていたかのように自害を命じた。徳川政権の本格的な確立期に、将軍家の血筋でさえ処罰するという処置であった。

高崎市内の忠長終焉の地を訪ねるとともに、群馬県に残る数多くの古墳のひとつ八幡塚古墳を見学する。

### ○ 長松寺

高崎市赤坂町

高崎城の書院を移築

死を命じられた忠長が自刃した部屋とされている。

忠長の死後、140年の後、高崎城改築の際に城内から移築された。

他に、本堂には、1789年の改築の際、描かれた狩野派の絵師による龍と天女の天井絵がある。

### ○ 大信寺

高崎市通町

自刃した忠長の墓所

寛永9年（1632）高崎城に幽閉された忠長は、翌年寛永10年、切腹を命じられて自刃。遺骸は大信寺に葬られた。長く墓所は作られなかったが、

延宝3年（1675）、四代家綱の時代、免罪されて墓石が作られた。

高さ2メートル強の墓石で正面右の扉に三つ葉葵の紋が刻まれている。

### ○ 高崎城

家康の関東入封に伴い、重臣井伊直政が上野箕輪に配置。

地名を高崎と改めて、高崎藩と命名。高崎藩が成立。

井伊直政は関が原戦後、近江彦根に移り、井伊家は維新时期まで城主となる。

成立当時、井伊家から、酒井氏、戸田氏、松平氏、安藤氏と、城主はめまぐるしく変

わった。忠長の幽閉の際の城主は下総から移った安藤家である。

その後、八代将軍吉宗の時、老中となった松平（長沢・大河内家）輝貞が越後村上から移り5万2000石の藩主となり、維新を迎える。

忠長の身柄を預けられたのは、高崎城主二代であった安藤重長（1621～57）の時である。重長は忠長の身を案じて度々赦免を家光はじめ幕閣に求めたといわれる。

## ○ 高崎・保渡田（ほどだ）古墳群

### ① かみつけの里 古墳公園

高崎市保渡田（ほどだ）町にある5世紀後半から6世紀初めにかけて造られた三基の大型前方後円墳

#### 築造時期順

井出二子山古墳	全長108メートル
八幡塚古墳	全長96メートル
薬師塚古墳	全長105メートル

古墳時代の中期に墳丘100メートル前後の前方後円墳が隣接しているのは東日本では珍しい。

3基とも広大な二重の堀が巡らされている。  
直径4メートルの中島があり埴輪列があった。

### ②八幡塚古墳

平成7年

埴輪群が発掘、調査された。

その埴輪群の内、54の人物や動物を復元配置している。

大王、武人、付添い人、騎馬群像（化粧されている）

大王が行っていた儀式や狩猟の場面が再現されている。

珍しい例・・・「鵜飼い」の埴輪が発見されている。

玄室・・・船形石棺が残されていた。

大型の石がくり抜かれて建造されている。

船底のように、底がすぼまり平らになっている。

首長につぐ豪族に用いられた作例とされ、東日本では群馬県のみである。

(以上)